



生活需要と経済の相関性

令和6年9月19日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

生活需要への製品とサービスの提供へ、その企業倫理性の構築が、社会との正しい関係を与えることへの考察を提案したい。

これらはマネーゲームという現実と社会への責任という対比が存在するのである。

これは西洋における企業倫理性の構築が、一つの正しさを与えることを意味するものである。

これらは社会サイクルと企業の活動の循環が、倫理的自己と社会責任を求めることを意味するものである。

消費者の要求と嗜好、需要は製品の品質や機能、価格に左右されるものであるが。これらが企業の倫理的判断において構築することは必ず存在するのである。

これらは、GAFAM などの独創性がどのように生まれたかへの考察において正しいと考える。

これらは企業の倫理性と社会責任という観点から企業経営の再編を得ることができることを提案するものである。

これら健全な社会と企業サイクルは、創造性という新しい現実を可能とできると考えるためである。

これはアメリカにおける一つの社会の絶対的な健全性なのである。彼らの倫理的判断がマネーゲームと一線を画すためである。

これが経済における倫理的なルールを有することの必要性であることは正しいと考える。

これらは可能性と創造性という新しいビジネスの現実への正しい参加であることは真実なのである。

